

竿銘 こま鳥（脇銘 高司） 4本継 11尺2寸

和歌山県が誇る伝統工芸品の紀州へら竿は、穂先は真竹、2本目は高野竹、3・4本目は矢竹と三種類の竹を組み合わせ、合計130もの複雑な工程を経て作られる、へら鮒釣りに特化した釣り竿である。

製作者の山上寛恭氏は、父である山上高司氏に入門し、23歳で独立して父の竿銘「こま鳥」を継承して以来、半世紀にわたりへら竿製作に精勤されてきた。本竿は令和2年度県名匠表彰受賞記念に製作されたものである。

竿の握り部分には、県章の青色を下地に卵殻で県鳥のメジロ、県花の梅がデザインされている。機能性と芸術性を兼ね備える紀州へら竿の至高品である。

